

し た ら

設楽ダムだより

第26号 2008.8

国土交通省中部地方整備局 〒441-1341
設楽ダム工事事務所 新城市杉山字大東 57
<http://www.cbr.mlit.go.jp/shitara/>

	TEL	FAX
総務課	(0536)23-4331	(0536)23-4401
工務課 調査・品質確保課	(0536)23-4387	(0536)23-4408
設楽庁舎 〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字川原田 1-2		
用地第一課 用地第二課	(0536)62-1290	(0536)62-1291

平成20年度に行っている調査の一覧です



調査区分	調査の概要	7月1日現在
道路関係調査	付替道路国道257号線の道路の詳細設計を実施しています。	
	また1号、2号、4号、5号、6号橋梁の詳細設計を実施しています。	
	付替道路瀬戸設楽線の1号、2号橋梁の予備設計を実施しています。	
	付替道路瀬戸設楽線の1号、2号トンネルの起点側、終点側の両坑口部分の設計を実施しています。	
	付替道路小松田口線の1号トンネルの起点側、終点側の両坑口部分の設計を実施しています。	
	付替道路の設計のため、田口、松戸、大名倉、小松、長江、川向、八橋地区で地質調査を実施しています。	
	付替道路設楽根羽線の設計のため、八橋地区において路線測量を実施しています。	
ダムサイト調査	これまでに実施したボーリング孔の地下水位観測や、ダムサイト付近の地質構造の検討のためにボーリング等地質調査を実施しています。	
貯水池等調査	ダム貯水池周辺斜面の湛水影響検討のため、小松、八橋地区においてボーリング調査を実施しています。	
	ダム設計の基礎資料とするため、ダム周辺の地形測量を実施しています。	
環境調査	ダム事業によって生息環境に影響を及ぼすと予測される重要な動植物の適切な保全対策を行うための事前調査を実施しています。	
	事業予定地周辺に生息する希少淡水魚類の適切な保全対策検討のため、同種の飼育繁殖・生息状況・生息環境の現地調査、野外実験等を実施しています。	
	事業予定地周辺に生息する希少猛禽類の適切な保全対策検討のため、同種の生息状況調査を実施しています。	
	放流鮎について、餌である付着藻類、鮎の成育状況等の現地調査を実施しています。	
水理水文調査	豊川上流域の雨量・流量観測・水質調査を実施しています。	
	雨量・流量観測所等の観測器機及び観測施設の維持管理を実施しています。	
文化財調査	湛水予定地及び付け替え道路の予定地で埋蔵文化財の試掘調査を実施しています。	

岩手・宮城内陸地震の支援に行ってきました

平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震の支援に設楽ダムからも3名の職員が参加し、16日から19日の間、TEC-FORCEの活動を行ってきました。

TEC-FORCEというのは地震や洪水などで被害を受けた地域に対して、国土交通省が早期に全国から緊急支援が行えるよう今年から設けたもので、今回のような緊急時に駆けつけるメンバーが職員の中からあらかじめ決められており、支援の内容に応じて迅速にメンバーに通知され、対応しようとするものです。これまでも緊急支援は行っていましたが、メンバーの選定作業から行っていたので、少しでも早く現地の支援が行えるようこうしたシステムがつくられました。今回のTEC-FORCEの活動は、岩手県、宮城県の各地で震

度6強、6弱及び5強を観測した地域にある土砂災害危険箇所等約1,700カ所の緊急点検でした。設楽ダムから出発したのは設楽ダム工事事務所の職員3名に豊橋河川事務所の1名を加えた4名で、このメンバーで1班を編制し、現地での活動も行いましたが、全国からは31班、約130名の職員が集まり土砂災害危険箇所等を点検して回りました。新城から対策本部のある岩手県一関市まで車で約10時間、6月16日の朝8時に出発して到着したのが18時、その日は先発隊との引き継ぎを行って終わりました。先発隊は地震が発生した14日の夜に出発しており、15・16日と現地調査を行っておりました。私たちが



が点検に入ったのは宮城県大崎市岩出山地区という所で、17・18日の2日間で35カ所の点検をおこなってきました。震源地からは比較的離れた場所だったこともあり、幸い点検を行った箇所では応急対応が必要と判断される箇所はありませんでしたが、1,700カ所の緊急点検の中では20ヶ所が応急対応が必要と判断されました。こうした点検の結果は国土交通省の出先である東北地方整備局に報告され、必要な対策がとられます。



ます。19日は一日かけて新城に帰ってきました。点検調査を担当した地域のみなさんがとても協力的で、親切に対応していただけたことが印象に残りました。